



## 【一般の部】さんかくやまべエ賞



タイトル	廃材をリメイクして	撮影場所	農試公園 トンカチ広場	氏名	堀川 侑紀	タイトル	共に生きるということ	撮影場所	農試公園	氏名	澤田 寛仁	タイトル	旧日本食品缶詰工場	撮影場所	西区八軒1西1	氏名	柴田 一男
	選択したSDGs							選択したSDGs					選択したSDGs				
選択したSDGsと作品に込めた思い			選択したSDGsと作品に込めた思い						選択したSDGsと作品に込めた思い						選択したSDGsと作品に込めた思い		
夏休み農試公園のトンカチ広場で、おもちゃをしまう棚を作りました。企業や自治体で出された廃材、くぎ、のこぎりを無料で貸し出してくれるため、自由に木工に触れられます。子どもの創造力を養う、資源を大切に使うことを教えてくれる素敵な場所。これからもありがとうございました。			町の中に川があり、たくさんの動植物が人工整備された川を家にしていること、それがどんなきれいな光景になるのか自分は試してみたいって撮った結果がこれ。そう、この町は数多の生物で構成されていることを再認識した一枚です。						昭和4年のレンガ造り、建物には人間と同じように寿命がある。だが、再活用することで寿命を延びるものだ。琴似には最初の屯田兵の「兵屋」も現存している。古き良きものと近代建築の調和を街並みに活かすべき。駅と古い建物とタワーマンションが同じ場所にあるのは素晴らしいことだ。先人が創ったものを活かしましょう。								
タイトル	かけっこ	撮影場所	発寒河畔公園	氏名	山内 崇司	タイトル	いつもの道からの幸せな1枚	撮影場所	地下鉄宮の沢駅6番出口そば	氏名	岩橋 奈緒子	タイトル	ハーフアート	撮影場所	生活介護こころやの室内	氏名	児島 義秀
	選択したSDGs						選択したSDGs								選択したSDGs		
選択したSDGsと作品に込めた思い			選択したSDGsと作品に込めた思い						選択したSDGsと作品に込めた思い						選択したSDGsと作品に込めた思い		
緑の中を駆けていく子供たち。このような様子が見られる環境を将来にわたって大切にしなければと思います。			娘が赤ちゃんの頃から一緒に歩いている思い出溢れるこの場所！2024年夏の一枚！札幌で一番早く咲く桜と地元で有名な桜の木々がありますが、新緑も小川も紅葉もまた雪道も、四季の移り変わりを感じることができる道なのです。これからも娘の成長と共に日々思い出の一枚を撮り続けていきますように！						コロナの時に配られた大量のマスクを一度ガーゼに戻し、それを半分に畳む。そこにマジックのインクを浸透させてから聞くと左右対称のシンメトリーナ作品が生まれます。シンプルでながら一つ一つ表情の違う作品を生み出せることが魅力です。								
タイトル	思わず歩かせる	撮影場所	白い恋人パーク横	氏名	片桐 有也	タイトル	守りたい日常	撮影場所	発寒川緑地	氏名	竹田 彩加	タイトル	ここはどこ？海外？！西区です。	撮影場所	発寒橋	氏名	佐々木 覚
	選択したSDGs						選択したSDGs						選択したSDGs				
選択したSDGsと作品に込めた思い			選択したSDGsと作品に込めた思い						選択したSDGsと作品に込めた思い						選択したSDGsと作品に込めた思い		
8月に行われたコンサタウンふれあいフェスタでは、歩かせる札幌としてウォーカブルの実証実験が行われていました。普段は車の往来が多い道路が歩行者天国に！この非日常体験の先陣を切る開放感は、暑さも吹き飛ぶ気持ちよさがありました。宮の沢は回遊性のある地域です。ウォーカブルに進化する宮の沢をたくさん的人に知ってほしい！			琴似発寒川に沿って形成されている発寒川緑地は、南に行けば行くほど市内とは思えないほど豊かな自然と人々の生活との共存を感じることができます。遠くを望めば折り重なった山々の雄大な景色も広がっているけど、目の前にも気持ちのよいみどりがある。“自分たちの目線にある景色からまずは守っていこう”という気持ちを込めました。						発寒橋を歩いていた時に思わずハッとして写真を撮りました。札幌市の中心部に近いにもかかわらず自然と建物が溶け込んだ景色が身边にある環境は西区の自慢であり、いつまでも残していきたいと思います。								
タイトル	こんな所に滝が！	撮影場所	左股川緑地	氏名	大溝 淑子	選択したSDGs						選択したSDGsと作品に込めた思い					
選択したSDGsと作品に込めた思い			五天山公園からの帰りに偶然滝を見つけました。長年札幌市民の私も今までこの場所を知りませんでした。西区はまだあまり知られていない素敵な自然がたくさんあると思うので、子どもたちと一緒に探検したいです。														